

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-005  
 担当 竹之越夏姫  
 内線等 347

PDCA	事務事業名	福祉センター管理運営事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 地域福祉担当				
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (2) 高齢者生きがいつくりの推進 個別施策： ①地域社会への参加の促進						
	根拠法令等	半田市身体障がい者福祉センター条例、半田市老人福祉センター条例、半田市ひとり親家						
	対象・目的	半田市福祉センターの利用を通じ、高齢者・障がい者等の社会参加に寄与する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市福祉センター（身体障がい者福祉センター、老人福祉センター、ひとり親家庭福祉センター）の運営を半田市社会福祉協議会に委託し、各種イベント等の実施により施設の利用を促進し、福祉の増進を図る。						
	活動実績			29年度	30年度	元年度	単位	
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	①福祉センターの開館日数	333	333	306	日		
		②福祉センター主催のイベント回数	2	2	1	回		
		③福祉センター利用団体利用回数	2,160	1,956	1,793	件		
		事業費	4,448	4,860	8,222	千円		
		人件費	952	937	932	千円		
		総事業費	5,400	5,797	9,154	千円		
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①開館1日あたりのコスト	16	17	30	千円			
	②							
	③							
成果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位		
	①年間延べ利用者数	実績値	77,055	70,565	62,338	人		
		目標値	77,000	78,000	78,000			
	②	実績値						
		目標値						
	③	実績値						
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ない				
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更				
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
	事業の評価・課題	C 新型コロナウイルス感染症の影響により3月は閉館となったが、高齢者・障がい者の方々の交流・活動の拠点としての役割を果たし、地域福祉の増進を図ることができた。施設管理については、老朽化した会議室の机・椅子を更新し、利用者が気持ちよく利用できるよう取り組んだ。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		利用者の減少が続いており、施設の有効利用を図るため利用促進を図る必要がある。また、施設の老朽化に伴い、様々な不具合が発生しているため、運営委託先の半田市社会福祉協議会による日常的な見回りや設備の定期点検を行い、利用者が安全安心して利用できるよう取り組む。						
	令和2年度の目標	成果指標				目標値	単位	
		①年間延べ利用者数				71,000	人	